

## 6 その他の研究校（自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校）

### ○ 研究の概要

現在の教育課題の解決を目的として、既存の考え方にとらわれない発想で、学校や地域の特長・魅力を活かし、多様で柔軟な学びの仕組みを創造する。

### 【実践校 松本深志高等学校】

### ○ 構想名

“自治の校風”を追求し、その理想を具現化することで、骨太のリーダーを育成する学校づくり

### ○ 目標

生徒・教員が“自治とは何か”を問い続け、その理想をすべての場面で追求・具現化することにより、自治を内面化し、高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を身につけ、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダーを育成する。

### ○ 構想図

**高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を備え、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダー**

（例）自然科学特別探究コース→高い使命感と専門性・協働性を備えた医師、研究者などを輩出

### 骨太な知と創造性・リーダーシップの獲得

- 文理の枠に捉われない幅広く深い教養の獲得
- 学問・職業への関心と問題意識、思考力・論理力・対話力・マネジメント力の向上
- 明確な将来展望と高い志、主体性、創造性、グローバルな視野の獲得
- 課題（社会への問い）発見・解決力、知識・技能の統合活用力向上
- 自治の内面化⇒自立心・タフな精神力・協働性と共創力を備えたリーダーシップ

#### ● 生徒自身が課題や連携先等を開発し実践する課題探究

⇒信大連携ゼミ・深志教養ゼミが連動し、自らの関心と社会課題の連結の強化  
⇒自ら研修先決定・計画・実践するキャリア研修旅行（大学・企業）

- 生徒主催同窓生特別講座
- 生徒がデザインする海外研修
- 生徒・職員・大学研究者による自治に関する共同研究

#### ● 生徒主体の学習カリキュラム

⇒新たに人文社会科学、自然科学、自然科学特別探究3コースを設置。さらにその中で、生徒が幅広い科目履修を実現できるカリキュラムを編成  
⇒大学と連携し、独創的で発展的な授業の研究開発・実践（先端研究・教科横断・ICT活用など）  
⇒成果物の完成度の高さへのこだわりをサポートする、アート&デザインの科目導入  
⇒協働・共創を磨く「哲学対話」

#### ● 生徒自ら学校づくりに参画

⇒学校・地域課題を解決するための、鼎談深志（生徒・住民・教職員からなる地域フォーラム）の運営と拡大  
⇒生徒が学校の学び、カリキュラム、授業、行事などについても主体的に考え、積極的に提案・提言

#### ● すべての部活動を主体的な創造の場に

（例）練習方法・計画、合宿運営、強化方法など部員が考え実践（運動部）

“自治”を校風だけでなく全ての場面に落とし込む

“自分のことは、自分で決める”

## 自治の理想を徹底追求

### 教師は“仕掛け人”（モチベーター&ファシリテーター）

- 生徒の「知への欲求」「社会や人生への問い」に火をつける授業
- カリキュラムや授業の改善
- 助言
- 外部とのつなぎ役 など

#### これまでの成果

- ・ 学校の根幹である「自治の校風」に基づいた、生徒会活動や部活動などにおける生徒の主体性
- ・ 社会の第一線で活躍する卒業生の輩出
- ・ 医学部医学科への合格実績 等

#### これからの課題

- ・ 能動的に授業に取り組む生徒の増加
- ・ 偏差値等の一面的価値観に捉われず、学びの意味や楽しさを追求する生徒の増加
- ・ 自己の特性や適性を踏まえた進路選択を行う生徒の増加 等